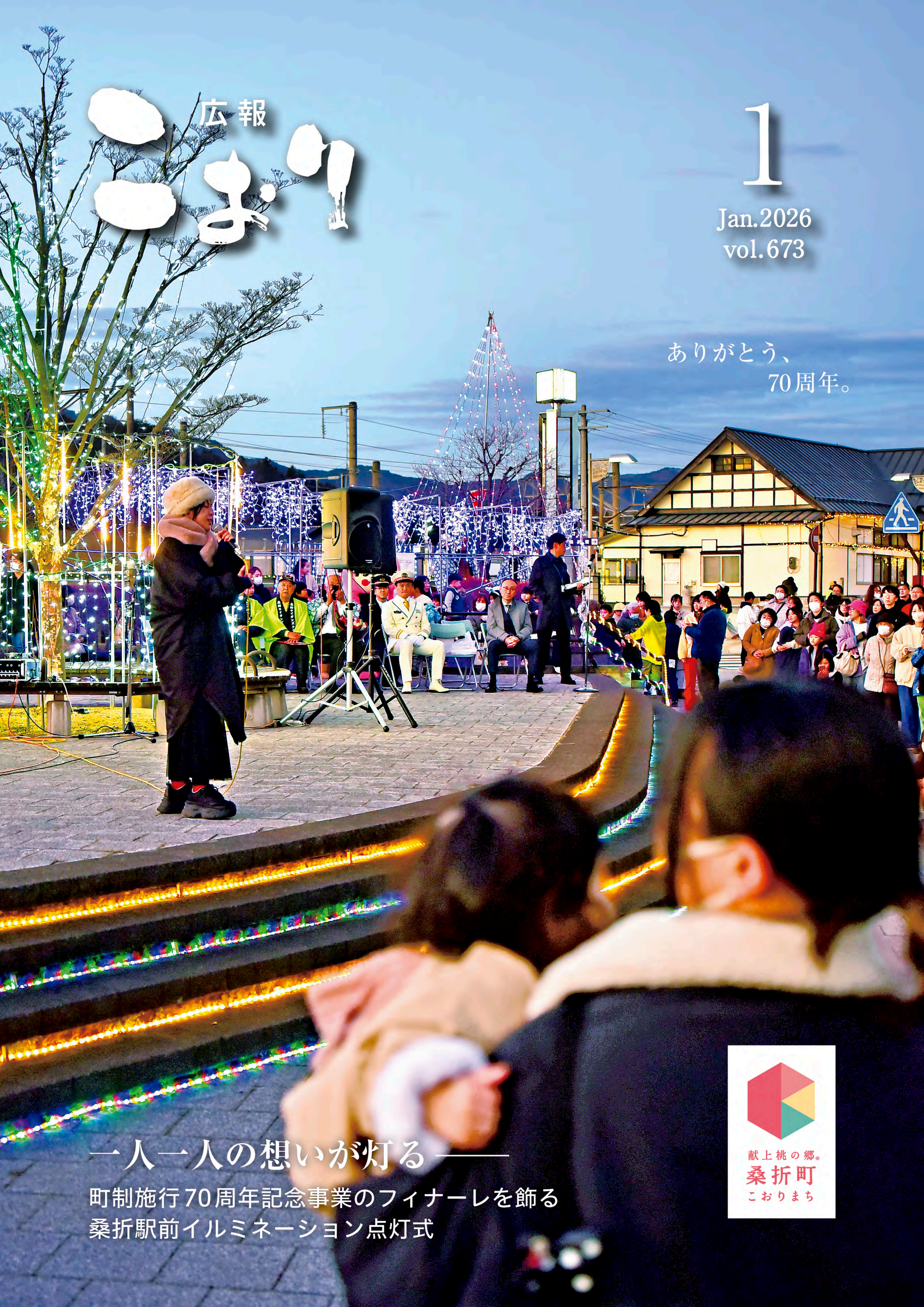
広報こおり

1
Jan.2026
vol.673

ありがとう、
70周年。



一人一人の想いが灯る――

町制施行70周年記念事業のフィナーレを飾る
桑折駅前イルミネーション点灯式

献上桃の郷®
桑折町
こおりまち

New Year's greetings 2026

新年あけまして おめでとうございます

桑折町長
髙橋宣博

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、町民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は、町制施行70周年として、「奥州こおり宿楽市楽座in山車フェス」をはじめとした記念事業などを通して、「桑折ならでは」の魅力を内外に力強く発信するとともに、大きな財産（レガシー）として得られた町民の皆さまとの「共創」や、桑折町民の矜持・気概を次代へ紡ぎ、町民の皆さまと心ひとつに花咲く未来に向かって確かな一歩を踏み出すことができました。

また、民間事業者の調査による「住み続けたい街」「街の住みここち」自治体ランキング２０２５において、本町が共に県内1位に輝いたことは、町民の皆さまをはじめ各種関係機関・団体と共に進めてまいりましたこれまでのまちづくりが、高い評価を得たものと捉えております。

一方、不安定な世界情勢や円安基調に起因する物価高騰が依然として、町民生活に深く影響を及ぼしていることから、地方創生臨時交付金の活用による各種支援策について、時機を逸することなく、的確に実施してまいります。

本年は、町制施行70周年記念事業を通して得られた「確かな一歩」を着実に前に進めていくため、町総合計画中期基本計画の一層の推進を図り、町の将来像である「みんなが幸せを実感できる　元気なまち　こおり」の実現に向けて、地域資源を活かした「桑折ならでは」の特色ある各種施策に職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

桑折町議会議長
原　賢志

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、町議会では、本会議での慎重な審議はもとより、各常任委員会による調査、視察や研修会への参加を通じて、町民福祉の向上と持続可能な地域づくりの実現に向け、活発な議論を重ねてまいりました。また、議会報告会の開催や、議会だより、ホームページを活用し、説明責任と情報発信にも努めてまいりました。さらに、全国の町村議会で深刻化している議員のなり手不足について、特別委員会を立ち上げ、その要因、解決策について調査しているところであります。

本年は、これまでの活動の充実はもとより、ホームページリニューアルなど議会ＤＸを積極的に進めることで、町民の皆さまが身近に感じることのできる「開かれた議会」、「見える議会」を目指してまいります。加えて、「議会ハラスメント防止条例」を制定し、議員の倫理意識の向上に努めます。

今後とも、町民の皆さまの声を丁寧に受け止めながら、二元代表制の一翼としての役割をしっかりと果たしてまいりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、本年が全ての町民の皆さまにとりまして、心豊かで、安心して暮らせるおだやかな一年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

こおり未来会議

20歳が見つめる故郷こおり

今年度、20歳を迎えた町出身の男女4人と町長による座談会「こおり未来会議」が11月に行われました。それぞれの20年間を振り返りながら、将来の夢や町に対する思いなどを語り合いました。

将来の夢

（町長）今日集まられたみなさんは、全員が教育関係の仕事を目指しているとのことで、それぞれの目指すきっかけをお聞かせください。

（阿部）両親がどちらも教員であることと、高校時代の担任の先生の姿を見ているうちに、自分も教員になりたいと思うようになりました。

（大槻）当初は教員を目指していましたが、教員の労働問題が社会的に注目される中、教育行政の立場から教育に関わり、教員の労働環境整備に携わりたいと考えるようになりました。

（佐藤）震災当時、外出の機会が減り体力低下が課題となった世代でしたが、祖父母に山形などに連れて行ってもらい、気兼ねなく外遊びができました。その経験から体育が好きになり、小・中・高で出会った先生方の影響も受け、体育教師を志すようになりました。

（西村）人の話を聞くことが好きで、幼いころから友人の相談によく応じてきました。高校時代に人間関係で悩んだ際、スクールカウンセラーに相談し心が軽くなった経験から、今度は自分が悩む子どもたちを支えたいと考え、スクールカウンセラーを目指すようになりました。

（町長）町は今、少子化を見据えた教育大改革に着手し、小中学校の統合を検討しています。子どもは、家庭はもとより、地域、町の宝であり、教育への投資こそが未来をつくるという思いが、この町には根付いていると感じています。「先生」という存在は、子どもに大きな影響を与えます。そこを目指すみなさんには、ＩＣＴ教育など時代の変化と上手く向き合いながら、一人一人に寄り添える先生を目指してほしいです。

幼少期の町の印象・思い出

（佐藤）近所のおじいちゃんやおばあちゃんと交流する機会が多く、自然豊かなところが魅力でした。お祭りにも参加していましたし、こうした地域のつながりがこれからも続いてほしいです。

（西村）近所の方々が優しく、助けられた思い出がたくさんあります。諏訪神社例大祭が好きで、今でもお祭りに合わせて帰省しています。

（大槻）小学生の純粋な印象として、田んぼが多いなぁと…（笑）。通学路も田んぼの中を通っていたのでよく覚えています。芝生の校庭がある伊達崎小ではよく遊びました。またバーガーサミットなどはいつもワクワクしていました。

（阿部）子どもを大切にしてくれる町だと感じていました。震災時、炊き出しのおにぎりは子ども優先だったことを覚えています。陣屋の杜公園でボール投げの練習をしていると近所の方が教えてくれて、本当に優しい人が多いなと。また、桑折学習塾や電子黒板の導入、制服支給など教育や子育て支援が充実している点も印象に残っています。私も諏訪神社例大祭は毎年楽しみにしていました。

（町長）今年、町制施行70周年を記念して山車フェスを開催し、改めて「ふるさとは祭り」だと実感しました。町内全ての山車が集結し、町が一つになったと感じた方も多かったと思います。人の輪や地域の結束は大切な文化です。若い世代が地域社会に参画し、継承していってほしいと思います。

町の未来に期待すること

（大槻）今後も子どもたちが安心して育つことができる町であってほしいと思います。人の温かさや教育への手厚い投資が桑折の誇るべきところだと、町外に住んでみて改めて感じました。これからも続けてほしいと思います。

（西村）これまでどおり、子どもたちがのびのびと暮らせる町であり続けてほしいです。事件や事故がなく、安全に暮らしていける環境が保たれてほしいです。

（阿部）歴史遺産や特産物、文化施設、運動施設などに恵まれたとても魅力ある町だと感じています。これからも町の財産を生かして、より良い町づくりを続けてほしいと思います。

（佐藤）街灯が少なく、熊被害への不安を感じることがあるため、今後少しずつ整備が進むと良いと思います。また、屋内温水プールやふれあい公園といった快適な施設を生かし、子どもから高齢者まで楽しめるようなスポーツイベントの開催やホタルなどの自然を守る取り組みも実施してほしいと思います。私はこれからも桑折に住み続けて、子育てをしたいと思っているので、子ども世代へ継承できる事業やイベントを実施してほしいです。

（町長）まずは、「今までどおり」という言葉をいただき大変うれしく思います。もちろん大事なのは、今まで以上の町づくりを進めることです。「桑折で生まれてよかった、住んでいてよかった」と思える町を目指して、今後も邁進していきます。そのためには、隣近所でともに支え合う地域社会をつくることも大切で、特に若い世代の社会参画が重要だと考えています。隣近所や町内会での支え合いがあったうえで、行政として取り組まなければならないことは何かを見極め、自助・共助・公助の考えのもと、町づくりを進めていきます。行政に参画するのは決して難しいことではありません。例えば、イベントを開催するときのスタッフとして手を挙げていただくなど、身近な関わり方で十分です。みなさんが持っているスキルを町のために生かしていただきながら、より良い町をともに目指して築いていければ大変心強く思いますので、今後のみなさんの力に期待しています。

新たな教育のかたちを目指して

町では、子どもたちの未来とよりよい教育環境の提供を第一に考え、町立4小学校と町立醸芳中学校を一つに統合し、新たに「義務教育学校」を設置する方針を決定しました。

少子化が進む中でも、子どもたちが多様な考えに触れ、互いに高め合える環境を確保することは、社会性を育む上で不可欠です。義務教育学校では、従来の「6・3制」の枠に捉われず、子どもたちの発達段階に応じて柔軟に学年を区切ることにより、中1ギャップの解消や異学年交流を通じた豊かな人間性の育成が期待されるほか、前期課程において教科担任制を導入し、さらに質の高い教育の提供を目指します。

今後の桑折町の未来を担う子どもたちにとって大切な学校であることから、学校関係者などで構成する「(仮称)基本構想等検討委員会」を立ち上げ、よりよい学校設置について熟議するとともに、急速に進展する少子化に対応するため、迅速な学校設置に取り組んでいきます。

桑折町の15歳のめざす姿に向かって
義務教育学校を設置します

検討経過

平成22年 3月 教育委員会にて学校統合についての方針を決定
4小学校の中で複式学級編制が生じるなど、適正規模が維持できないような場合には、統廃合について多角的かつ総合的な検討を進めることとする。

令和3年 8月 教育委員会にて「桑折町教育振興基本計画」を策定
小学校統合や小中一貫教育の検討について記載

9月 町総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」および町教育大綱を策定
小中学校のあり方検討について記載

令和5年 4月 睦合小学校で複式学級編制

5月 町小・中学校のあり方調査・研究委員会（計7回開催）
教育長や小中学校長などで構成し、今後のあり方について調査・研究

令和6年 5月 町小・中学校のあり方検討委員会（計8回開催）
有識者や学校関係者、保護者、地域住民代表で構成し、今後の小中学校のよりよいあり方について検討

令和6年11～12月 町民・保護者アンケート
町民がよりよい教育環境についてどのようなイメージを持っているのか調査

令和7年 10月 町教育委員会へ提言（8日）
あり方検討委員会における検討結果を提言

10月 町教育委員会の方針を決定（27日）
小中学校を統合し、義務教育学校を設置する基本方針を決定

11月 総合教育会議を開催（7日）
町と町教育委員会が、教育委員会の基本方針を基に意見交換

11月 町の方針を決定（12日・14日）
総合教育会議の内容を踏まえ、町長をはじめとする庁内の政策決定会議において小中学校を統合し、義務教育学校を設置する方針を決定

義務教育学校と小中一貫校の違い

	義務教育学校	小中一貫校
法的位置づけ	学校教育法に規定された **正式な学校種**	法律上は、小学校と中学校は**別組織** ※法律用語ではなく教育行政上の施策名称
組織	**1つの学校**として運営 ※(通常)校長1人、副校長1人 教頭2人、主幹教諭1人	**2つの学校を連携**して運営 ※(通常)各校に校長1人、教頭1人
学年の区切り	**1～9年生** (前期課程6年+後期課程3年) ※区切りは、4-3-2や5-4などの工夫が可能	**小1～6年／中1～3年** ※連携の度合いに応じて カリキュラムや行事を接続
カリキュラム	小中の学習指導要領を踏まえつつ **9年間継続**した 教育課程や学校目標を設定	**小中で連携**したカリキュラムを設定 ※別組織のため密な調整が必要
児童生徒の流れ	入学式は1年生のみで **後期課程**へは**進学**ではなく**進級** ※指導要録は校内で縦断共有	**通常の小中学校と同様の取り扱い** ※進学時に指導要録の引継ぎが必要
教員の相互乗り入れ	1つの学校なので **自由に担当可能**	別の学校同士のため、教育委員会から 兼務辞令などの**手続きが必要** ※多くは、特別活動、総合学習、研究授業の形で行われる
部活動顧問への教員対応	1つの学校なので **自由に担当可能**	他校の顧問は、教育委員会からの兼務辞令などがあれば**例外として担当可能** ※実際は、補助顧問、支援員として関わることが多い
教職員の業務負担	職員会議や校務分掌が **1本化**される	**小中で会議が二重**となり、さらに**小中の連携会議が必要。**また、同じ校務分掌でも学校が別のため、**各学校で担当が必要。**

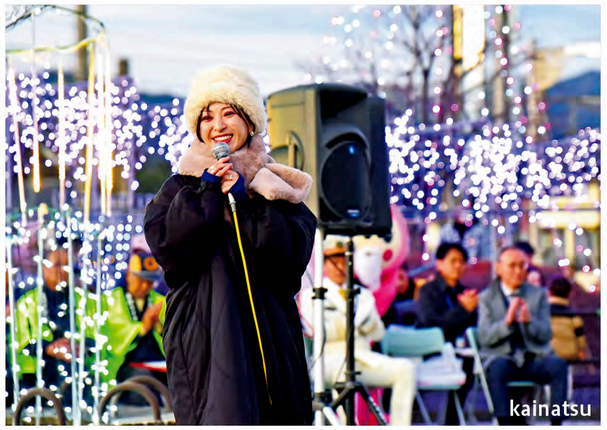
今後の流れ

義務教育学校の建設候補地は、現醸芳中学校の敷地内を前提として、設置に向けた調査を速やかに実施します。また、今後は(仮称)義務教育学校開校準備委員会で、校名や制服、通学手段、新たな教育課程などの具体的な検討を行い、進捗状況は随時お知らせします。

令和12年4月の開校を目標とし、地域が誇れる魅力ある学校設置に向けて、着実に準備を進めていきます。

一人一人の想いが灯る 桑折駅前イルミネーション

澄み切った冬空の下、桑折駅前が優しい光に包まれました。町制施行70周年記念事業のフィナーレとして行われた「桑折駅前イルミネーション」の点灯式。無数に輝く光が、脈々と紡がれてきた歴史と次の時代へ向かう新たな一歩を静かに照らし出しました。



町制施行70周年記念事業のフィナーレを飾る「桑折駅前イルミネーション」の点灯式が12月20日、駅前ロータリーで開かれました。記念すべき年の締めくくりを祝福するかのように澄み渡った冬空の下、約800人が集まり、1年間への感謝と輝く未来をともに祈念しました。はじめに、佐藤克巳実行委員会会長と髙橋町長があいさつし、数々の記念事業を振り返るとともに、イルミネーション事業に協賛いただいた多くのみなさんへ感謝の意が伝えられました。その後、特別ゲストのkainatsuさんを迎え、イルミネーション点灯へ。「5、4、3、2、1…どうぞ！」の掛け声に合わせて点灯スイッチが押されると、駅前一帯に飾り付けられたおよそ3万球の光が一斉に灯り、歓声とともに大きな拍手が送られました。キラキラと瞬く光に囲まれながら始まったkainatsuさんのミニライブでは、映画「物置のピアノ」の主題歌「Little Melody」を含む4曲が披露されました。来場者らは、幻想的な景色に優しく溶け込む歌声に耳を傾け、心温まるひとときを楽しみました。

1年間にわたり展開してきた町制施行70周年記念事業は、桑折駅前イルミネーションをもってフィナーレを迎えました。駅前に広がる無数の光は、先人たちが積み重ねてきた歴史と、これから紡がれていく希望を表しています。この光景を胸に、町は次の節目へ向けて、町民のみなさんとともに新たな一歩を踏み出していきます。

1_イルミネーションで表された「70」の文字が輝く　2_点灯式に集まった多くの来場者　3_ホタピーサンタによるお菓子プレゼント　4_商工会による桑折夜市。豚汁無料振る舞いは長蛇の列ができるほど賑わいました

多くの個人・団体のみなさんから
実行委員会へ協賛金が寄せられました

合計　608,000円
（令和7年12月22日現在）

ご協力ありがとうございました

企業版ふるさと納税寄附300万円 ㈱フクダ・アンド・パートナーズ

株式会社フクダ・アンド・パートナーズ（東京）による企業版ふるさと納税の寄附贈呈式が12月11日、役場で行われました。同社による寄附は、令和5年度から3年連続となり、林亮一取締役専務執行役員が「町の農業振興の発展に役立ててほしい」と髙橋町長に目録を手渡しました。同社は、対象を物流施設・商業施設に特化した設計事務所であり、設計監理業務、プロジェクトマネジメント業務、建物管理業務などを展開している企業です。近年は、自治体や民間企業と連携した広域防災拠点づくりを進めるなど、社会課題解決に向けた取り組みを推進しています。林専務は「桑折町でも関係企業と連携し、地域振興や農業振興などに貢献したい」と力強く話しました。

▲髙橋町長に目録を手渡す林専務（右）。事業展開やまちづくりについて懇談しました

困ったときの身近な相談役 民生委員・児童委員・主任児童委員一斉改選

民生委員などの一斉改選による委嘱状伝達式が12月1日、やすらぎ園で行われ、委員ら34人に厚生労働大臣と福島県知事からの委嘱状が伝達されました（任期は令和10年11月30日まで）。また、退任される民生委員および児童委員に、民生委員協議会の亀岡正幸会長から記念品が贈呈され、長年にわたる活動に感謝を表しました。

■民生委員・児童委員・主任児童委員（敬称略）
※赤色の表示は新任委員です。

地区	氏名	担当地区
桑折	半澤 喜美子	諏訪
	亀岡 正幸	西町
	二階堂 和博	南/孤崎
	関本 まゆみ	陣屋
	皆川 達夫	本町
	菅野 哲郎	桑島
	佐藤 勲	北町/桑折宿舎
	佐藤 文惠	東上町
	川﨑 靖子	西上
	遠藤 ひろみ	中区
	鈴木 敏弘	桑島西
睦合	大越 正子	松原上/松原中
	岡﨑 照子	松原下/牛沢
	小林 陽子	下成田
	片平 光義	上成田
	佐藤 正幸	清水/下万正寺/中屋敷
	佐藤 芳吉	坂町/平沢
伊達崎	後藤 洋子	舘沢/北沢
	亀岡 和美	前屋敷/道林
	小原 浩美	中屋敷/大畑/吉沼
	平井 佐津枝	上郡上代/根岸
	幕田 義人	北郷/中郷/南郷
	大波 敏子	下郡上代/下郡下
半田	齋藤 久美子	内ノ馬場/桐ヶ窪北
	小野寺 由美子	坂下/桐ヶ窪南
	佐藤 浩美	中北/田町
	鈴木 正彦	銀栗/御免町
	鈴木 礼子	下半田
	吉田 清美	六丁目/久保八幡
	髙橋 雪枝	下高屋/荒屋敷
	國分 征子	追分1/2/3
	塩谷 和子	追分4/5
主任児童委員	三村 孝子	桑折/睦合
	鈴木 順子	伊達崎/半田

気軽にご相談ください

民生委員・児童委員とは

誰もが安心して暮らせるように、生活上の悩みや心配事など、地域の相談に幅広く応じています。また、福祉制度やサービスなどを必要なときに利用できるように、行政機関と連携して各種福祉関係の調査や情報提供を行っています。

主任児童委員とは

子育てに関する不安や虐待、いじめ、非行、不登校など、地域の子どもに関することを専門的に担当し、行政機関と連携しながら相談・援助に応じています。また、学校・幼稚園・児童館などとも連携して、健全育成活動や環境づくりに務めています。

交通事故が起こらないまちを目指して 国見町・桑折町交通安全町民大会

毎年、桑折町と国見町が合同で実施している国見町・桑折町交通安全町民大会が11月28日、観月台文化センター（国見）で開かれました。当日は、交通安全功労者などの表彰や警察による交通安全に関する講演が行われ、交通事故防止への取り組みを再確認しました。

【受賞者（桑折町のみ）】

▼大会長・福島北警察署長連名表彰

〈交通安全功労者〉
蓬田元衛　佐藤英義

〈交通安全優良団体・事業所〉
桑折運送有限会社

▶交通安全功労者として表彰状を受け取る佐藤英義さん

▼福島北署長・桑折地区安全運転管理者協会長連名表彰

〈交通事故防止コンクール〉
曙ブレーキ福島製造株式会社
渋谷建設株式会社
県北清掃環境サービス協業組合
根本建設株式会社
株式会社近藤組
丸美青果有限会社
ふくしま未来農業協同組合桑折支店
社会福祉法人コクーン
桑折ガス株式会社
マエサン東北農材株式会社
有限会社三協ハイヤー
有限会社鈴木運送
桑折運送有限会社
（敬称略・順不同）

地域一丸で守るくらしの安全 年末年始事件事故防止活動出動式

町の防犯や交通安全関係団体による年末年始事件事故防止活動出動式が12月11日、イコーゼで行われました。式では、警察署をはじめ、桑折地区防犯協会、防犯指導隊、桑折地区交通安全協会などの団体が出席。福島北警察署長や桑折地区防犯協会連合会長の髙橋町長らがあいさつし、防犯指導隊による安全宣言が確認された後、各団体が会場を出発。白バイやパトカーによる町内警らやブイチェーン桑折店で啓発活動を行いました。

▶町内警らに向かう白バイやパトカー

空き家にしないための第一歩 住まいのエンディングノート

桑折まちづくりネット主催（町共催）のセミナー「住まいのエンディングノートを書いてみよう&空家相談会」が12月6日、役場で行われました。住まいのエンディングノートは、相続の制度や手続きなどを確認することができ、住まいの情報や今後どうしてほしいかを書いて残しておけるノート。参加者は、司法書士の説明のもと、実際にノートに書きこみながら、住まいの将来について具体的にイメージしていきました。

▶家の将来のことを整理できたなどの声が寄せられました

豊かな森林を守り引き継ぐために 半田財産区が町に要望書を提出

半田財産区管理会は11月7日、「半田財産区の財産移管についての要望書」を町長に手交しました。

設置から70周年を迎えた当財産区は、半田地区の山林の一部を、半田地区住民の共有財産として管理しながら、薪やキノコなどの林産物を生活資源として活用してきました。しかし、ライフスタイルの変化や木材市況の低迷、原発事故災害の発生などにより、財産活用による運営が見通せない状況が続いており、昨年3月から、管理会委員が「管理運営に関する今後のあり方」について検討を重ねてきました。説明会の開催や「半田財産区だより」を発行し、住民の理解を得ながら移管に関する基本方針をまとめ、要望書の手交に至りました。

神田隆雄管理会委員長は「区有林が、引き続き豊かな森林として適切に守り育てられ活用されるよう移管を要望します」と話し、髙橋町長は「半田地区の歴史を踏まえ、半田山全体の活性化のために有効活用を図るとともに、将来にわたり公益的機能が維持されるよう次世代にしっかりと引き継いでいく」と述べました。

▲髙橋町長に要望書を手渡す神田委員長（右）

音楽の力と認知症 絵本「おもいでメガネ」の世界から

認知症のおばあちゃんと孫とのふれあいを描いた絵本「おもいでメガネ」の作者、ないとうともあきさんによる講演会が12月6日、イコーゼで行われ、120人が参加しました。絵本のムービー上映や加藤エレナさんによるピアノ演奏を通して、クスッと笑ってしまう認知症のエピソードや音楽が認知症に与える力などを分かりやすくお話しいただきました。参加者は、心地よいピアノの音色に包まれながら、認知症への理解を深めました。

▶楽しく心温まるエピソードを話すないとうさん

音楽を楽しもう オレンジカフェもんも

認知症について理解を深める「オレンジカフェもんも」が12月10日、睦合小学校で行われ、19人が参加しました。当日は、音楽療法士の紺野涼子さんを講師に迎え、認知症や音楽療法について講話いただきました。クリスマスが近いこともあり、参加者全員でハンドベルの演奏にもチャレンジ。その他、童謡を歌ったり、楽器を演奏したりと、童心に返りながら楽しむみなさん。音楽の力を肌で感じながら、認知症について理解を深めました。

▶紺野さんの話を真剣に聞き入る参加者のみなさん

伊達崎小学校５年生による学習発表会

こうよ！美しい伊達崎へ

伊達崎小学校5年生による総合的な学習の時間の成果発表会が12月2日、レガーレこおりで行われました。児童らは、野菜づくりをはじめ、ピザづくり体験、田植え、稲刈り体験、ぶどうの収穫体験などを通して、地元の魅力やすばらしさを再発見し、もっと多くの人に伊達崎のことを知ってもらいたいという思いが芽生えたことを発表。ふるさとの良さを形にするため、町振興公社協力のもと、米とシャインマスカットのジェラートを開発しました。児童らは、「町の産業を支える人々に感謝しながら、今後もふるさとの魅力を探り、発信していきたい」と意気込みました。

1・2_関係者らが出席する中、成果発表を行う児童のみなさん　3・4・5・6_試作した「DANZAKIマスカットジェラート」の試食会。試食後、成果発表の内容やジェラートの感想などを参加者にインタビュー

半田銀山新そばまつり

の味覚を堪能

町振興公社と半田銀山そばの会協議会、割烹仙台屋共催による「半田銀山新そばまつり」が11月23日、レガーレこおりで開かれ、約350人が秋の味覚を堪能しました。刈りたての玄そばから完全手打ちの「もりそば」に仕上げられた半田銀山新そばを堪能しようと、限定200食の前売りチケットは完売。天ぷらの盛り合わせをお供に、みずみずしいのどごしを楽しみました。また、伊達崎マルシェも同時開催され、地元の新鮮野菜や地元グルメ、ワークショップなどが出店。桑折ならではの賑わいの中、来場者はおいしさと楽しさを満喫しました。

▲桑折ならではの秋の魅力を満喫しようと多くの人で賑わう会場

広　告

広　告

伊達果実農業協同組合がバナナ贈呈

ナナで元気！寒い冬を乗り切ろう

伊達果実農業協同組合は11月27日、醸芳幼稚園や各小中学校へバナナを贈呈しました。この取り組みは、栄養価の高いバナナを子どもたちにおいしく食べてもらい、寒い冬も健康で元気に遊び、勉強に励んでほしいという思いから、毎年行われています。今年は、インフルエンザ予防のため、醸芳幼稚園での贈呈式は行われませんでしたが、園に届いたバナナを先生たちが園児らに手渡すと、嬉しそうに受け取る姿がありました。園児らはお礼に、手作りの飾り物を制作し、伊達果実農業協同組合に届けられました。

▲新鮮バナナを嬉しそうに受けとる園児のみなさん

開設10周年記念イベント「輪楽創祭り」

域とともに歩んだ10年を祝って

NPO法人桑折町共に生きる社会を創る会が運営する就労支援事業所「輪楽創（わらっく）」が設立10周年を迎えたことを記念し、同法人と「手をつなぐ親の会」共催によるイベント「輪楽創祭り」が11月22日、桑折公民館で開かれました。当日は、歌手の本田和美さんが昔懐かしい曲を披露し、利用者も一緒に歌ったり踊ったりして会場を盛り上げました。また、事業所で栽培した農産物や織物の販売のほか、十割そばなども提供。昨年6月の記念誌発行にはじまり、7月の祝賀会、そして地域のみなさんに楽しんでもらうべく開いた当イベントをもって、記念行事を締めくくりました。

▲歌手の本田和美さんと一緒に昔懐かしい曲を歌う利用者のみなさん

桑折ライオンズクラブ結成50周年記念事業

に地域を支える団体を応援

桑折ライオンズクラブは、今年結成50周年を迎えました。それを記念し、醸芳中学校に「ライオンズ文庫」図書購入費として50,000円、町社会福祉協議会（こども食堂）に米30キロを5袋、NPO法人桑折町共に生きる社会を創る会「輪楽創」にテレビ、町商店会連合会にガーデンテーブル10脚、もんも児童発達支援・放課後等デイサービスに遊具を贈呈しました。醸芳中学校では11月27日、贈呈式が行われ、本間澄雄会長から稲村茜な図書委員長に目録が手渡されました。稲村委員長は「みんなが好きな本を充実させ、楽しく図書室を利用できるようにしていきたい」と話しました。

▲（左から）藤倉実事業委員長、水口盛会計、稲村図書委員長、本間会長、和泉守昭幹事

町社会福祉協議会（こども食堂）へ贈呈

輪楽創へ贈呈

町商店会連合会へ贈呈

もんも児童発達支援・放課後等デイサービスへ贈呈

書類の準備はお早めに、期限内の申告を

申告相談始まります

令和７年分の所得税の確定申告と町民税（国民健康保険税）の申告相談を受け付けます。

【問い合わせ】　税務住民課　課税係　☎582-2114

受付期間

2月13日金～3月16日月

午前９時～11時、午後１時～４時

土日祝日は除く。２月23日（月･祝）は開設。

受付会場

桑折町役場　1階　町民ロビー

（桑折町大字谷地字道下22番地７）

～申告相談に関するお願い～

- **各地区の指定日にご来場ください。**また、例年午前10時ごろまでは非常に混雑し、待ち時間が発生します。できるだけ避けてご来場ください。午後２時以降は待たずにご案内できることが多いです。
- **次に該当するときは、事前に書類※を作成してからご来場ください。**書類未作成の場合は受付できません。
  - 農業を含む事業所得の申告をする人 … 帳簿類をもとに内容を整理記入した「**収支内訳書**」
  - 医療費控除をする人 … 受診した人・病院などごとに分けて各合計額を記入した「**医療費控除の明細書**」

※役場や税務署で配布、国税庁HPからダウンロード可。任意の様式でも可。

★１人あたりの待ち時間の短縮のため、ご協力をお願いします。

申告に必要なもの

◎**マイナンバーカードまたは通知カード（記載内容に変更がないものに限る）**

- 運転免許証、健康保険証など
- 税務署から届く「確定申告のお知らせ」または、役場からの「申告相談のご案内」※郵送された人
- 印鑑
- 申告者本人名義の通帳（還付があるときに振込先を確認します。）
- 源泉徴収票（給与・年金・恩給・報酬がある人）
- 収支内訳書（農業・営業・不動産所得がある人）
- 生命保険料控除証明書、地震保険料控除証明書、国民年金納付額証明書
- 医療費控除をする人は、医療費控除の明細書または保険者からの医療費通知書（お知らせ）

申告が必要な人に該当しない場合でも、所得税が源泉徴収されている人や各種控除の適用を受けている人は、確定申告により、税金の軽減や所得税の還付を受けられる場合があります。

申告が必要な人

令和８年１月１日現在桑折町に住所があり、次に該当する人

1. 給与所得者のうち以下の人
   - 給与収入のほかに所得があった人
   - ２か所以上から給与収入があり、年末調整されていない人
   - 年の途中で退職し、年末調整されていない人
2. 個人事業主（営業・農業など）・不動産所得のある人
3. 年金受給者のうち以下の人
   - 障害者年金・遺族年金受給者
   - 公的年金などの収入金額が400万円を超える人、または400万円以下で公的年金以外の所得がある人
4. 収入がなく、町内の人の扶養にもなっていない人
5. 青色申告をしている人
6. 令和７年中に新たに住宅ローンでマイホームを取得、または増改築した人
7. 譲渡所得（土地・建物・株式など）があった人
8. 税務署から通知があった人

申告会場

1～3に該当する人

▸桑折町会場、税務署申告会場

4に該当する人

▸桑折町会場のみ

5～8に該当する人

▸税務署申告会場のみ

※詳細は、左ページをご覧ください。

WEBで確認！桑折町会場の混雑状況

桑折町会場の混雑状況を、町公式ホームページでリアルタイムに確認できます。信号機の色で、現在の混雑状況を３段階でご案内します。

- 🟢…空いています
- 🟡…やや混雑
- 🔴…混雑

混雑状況を確認▶

桑折町会場　申告相談スケジュール

※町内会ごとの日程の割り振りを廃止しました。

月日		地区
2月13日	金	収入が年金のみの人 ※非常に混雑し、長時間お待ちいただく場合があります。各地区の日程もご検討ください。
2月16日	月	
2月17日	火	
2月18日	水	混雑予想日 桑折地区
2月19日	木	
2月20日	金	
2月23日	月･祝	休日申告受付日（全地区対象）
2月24日	火	桑折地区
2月25日	水	混雑予想日 睦合地区
2月26日	木	
2月27日	金	

各地区の初日は混雑が予想されます！
（2月18日水・25日水、3月2日月・9日月）

月日		地区
3月 2日	月	混雑予想日 半田地区
3月 3日	火	
3月 4日	水	
3月 5日	木	
3月 6日	金	
3月 9日	月	混雑予想日 伊達崎地区
3月10日	火	
3月11日	水	
3月12日	木	
3月13日	金	

※2月13日金、16日月、17日火は、収入が年金のみの人を対象に申告相談を受け付けます。公的年金受給者でも、事業所得（営業・農業・不動産）などがある人は、地区ごとの日程でお越しください。

※混雑状況により、午前中来庁されても、午後の受付となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※3月16日月は、予備日です。

Check

自宅で申告書作成・送信

パソコンやスマートフォンなどから、国税庁ホームページ内の「確定申告書等作成コーナー」にアクセスし、画面の案内に従って金額などを入力するだけで申告書が作成できます。

- **作成した申告書は、郵送またはe-Tax（電子申告）で税務署へ提出可能！ e-Taxで申告の際は、マイナンバーカードや電子証明書の有効期限にご注意ください。**
- **マイナポータル連携で、給与の源泉徴収票※注や各種控除証明書などのデータを自動入力！**

また、毎年の税制改正に対応した自動計算機能により、計算誤りのない申告書を作成することができます。作成したデータを保存しておけば、翌年の申告作成にも役立ちます。

※注　勤め先の会社から、税務署にe-TaxやeLTAXで源泉徴収票を提出している場合

申告書の作成はこちら

QRコードまたは「申告 作成コーナー」で検索してください。操作に関する問い合わせは、「e-Tax・作成コーナーヘルプデスク」☎0570-01-5901まで。

福島税務署の申告会場

場所▶MAXふくしま４階　アオウゼ（AOZ）
（福島市曽根田町1-18）

期間▶２月16日月～３月16日月
（土日祝日を除く。３月１日日は開設します）
※上記期間中、税務署に申告作成会場は設置していません。

時間▶9:15 ～ 16:00

入場▶「入場整理券」が必要です。
①LINEで事前発行（右記二次元コード）
②会場で当日券を受け取る
〈配布場所〉
8:50 ～　MAXふくしま 1階 南側入口
会館後～ MAXふくしま4階 南側エレベーター前
※当日券は限りがありますので、ぜひLINEアプリでのオンライン事前発行をご利用ください。
※MAXふくしま４階は、９時開場
※MAXふくしま駐車場は、２時間まで無料

持物▶申告関係書類、ご自身のスマートフォン、マイナンバーカード（暗証番号）

★申告書の提出は、郵送でも受け付けています。

【問い合わせ・郵送提出先】福島税務署　☎534-3121
〒960-8509　福島市森合町16-6　福島税務署内
仙台国税局業務センター　福島分室

生活習慣病を防ぐ！
今日から始める「小さな工夫」ガイド

■生活習慣病とは

生活習慣病は、食事や運動、睡眠、喫煙、飲酒といった毎日の習慣が影響し、時間をかけて進行する病気の総称です。代表的なものとして以下のものがあります。

- 高血圧：動脈に負担がかかり、脳卒中・心不全の原因になる
- 脂質異常症（コレステロール・中性脂肪の異常）：動脈硬化が進みやすくなる
- 糖尿病：血糖が高い状態が続き、腎臓・目・神経・心血管などに影響を与える
- その他　高尿酸血症（痛風）・肥満症・非アルコール性脂肪性肝疾患など

多くは自覚症状が乏しいため、生活の工夫と定期的な健診により早期に気づいて対処することが重要です。

■いま予防に取り組む理由

生活習慣病は、発症してから治療に取り組むより、日々の工夫で予防するほうが効果的です。小さな改善を継続することで、将来の脳卒中や心筋梗塞、腎不全などの重大な病気のリスクを抑えることができます。

無理のない範囲で目標を立て、毎日の取り組みを積み重ねていくことが大切です。

■今日からできる5つの習慣

①食事のバランスを意識しましょう

◆1日3食を基本に、主食・主菜・副菜をそろえて食事のバランスをととのえましょう。

主食…ごはん、パン、麺など

主菜…肉、魚、卵、大豆製品など

副菜…野菜、きのこ、海藻類など

【外食時の食事の選び方のコツ】

カレーやラーメンなどの単品メニューは野菜やたんぱく質が不足しがちになるため、主食・主菜・副菜のそろった定食メニューを選ぶのがおすすめです。

麺類はスープに塩分が多く含まれているため、汁は全部飲み干さず残しましょう。

◆野菜をたくさん食べましょう

1日に食べる野菜の量は両手3杯（約350g）を目安にしましょう。

【たくさん野菜を食べるコツ】

野菜は生で食べるよりも、茹でたり蒸したり汁物にしたりと、火を通すことでかさが減り、たくさん食べやすくなります。また、カット野菜や冷凍野菜を利用すると手軽に野菜料理の品数を増やすことができます。（例：味噌汁に冷凍の青菜を加える　など）

◆塩分は控えめにしましょう

塩分の取りすぎは高血圧の原因になります。1日の食塩摂取量は男性で7・5g未満、女性で6・5g未満（高血圧の方は男女ともに6g未満）が推奨されています。

【減塩のコツ】

出汁のうまみや、香辛料（胡椒・山椒・カレー粉など）や香味野菜（しょうが・わさび・にんにくなど）、柑橘の風味を利用すると、薄味でもおいしく食べられます。

すべてのメニューを薄味にしてしまうと、食事に飽きてしまったり苦痛になってしまったりして減塩を続けられなくなってしまうことがあります。主菜はしっかり味をつけ副菜は薄味にするなど、一食の中で味付けにメリハリをつけることが減塩食を続けるポイントです。

②1日合計30分程度の「こま切れ運動」

なるべく階段を使う、早歩きを10分ずつ3回行う、テレビのCM中に立ち上がって体を伸ばすなど、座りっぱなしを減らし、こまめに体を動かしましょう。

③体重と血圧を測定し記録しましょう

体重は毎朝、血圧は毎日朝と夜に測りましょう。アプリや手帳、カレンダーなどに記録して変化を確認します。

④規則正しい生活を

毎日同じ時間に起きて生活リズムを整えることは質の良い睡眠につながり、疲れにくくストレスを溜めにくいからだづくりに効果的です。

寝る前のスマートフォンやパソコンの使用は、眠りが浅くなる原因になるので控えましょう。

⑤たばことお酒の習慣を見直しましょう

たばこを吸っている場合は禁煙しましょう。

お酒は純アルコール量で1日20g程度までに抑え、休肝日を設けます。

■見逃したくない小さなサイン

階段で息切れしやすくなったり、ウエストがきつくなったりしたときは、生活を立て直すタイミングが来ていると捉えます。朝のむくみや頭痛、だるさが続く場合や、健診で「要観察」や「生活改善」と指摘されてそのままになっている場合も同様です。気づいたときに一つの行動から始めることで、確実に改善へ進むことができます。

■数値で見る自分

健康の目安として、BMI〔体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))〕は18・5～24・9の範囲を維持し、家庭で測る血圧は上が135mmHg未満、下が85mmHg未満を目標にします。

体重や血圧の記録をグラフで可視化すると、変化がわかりやすくなり、継続する意欲を保ちやすくなります。

毎日の小さな工夫を積み重ねることで、将来の大きな安心につながります。まずはできることから取り組みましょう。気になることがあれば、役場健康福祉課（☎582-1133）までご相談ください。

NEWS

ペアトレ

子育てアドバイス

ペアレントトレーニングを開催しました

子育て中のみなさん、「子どもをほめるってどうしたらいいの」「しつけはどうしたらいいの」など、お子さんの行動に悩んだり迷ったりする場面はありませんか。

町ではそんな悩みを持つ18歳未満のお子さんがいるご家庭を対象に、子どもの行動に対する具体的な対処法を学ぶ「ペアレントトレーニング」を、児童家庭支援センターあおばより講師を迎えて、9月10日から11月19日まで全6回の講座を開催しました。

参加された保護者のみなさんは、真剣に講座に取り組み、積極的に質問する姿も見られました。講座では、毎回、その日に学んだ内容を家庭で実施するという宿題が出され、次回の講座では参加者全員が実践した内容を発表していました。

来年度もペアレントトレーニングを開催する予定です。興味のある方は、ぜひご参加ください。

参加者の感想

ペアレントトレーニングを通して、いつもと違う声かけや褒め方の工夫を学ぶことができ、自分が落ち着くためのヒントも得られたことで、気持ちが楽になった。受講して本当に良かった。

褒める場面で、以前より素直に子どもを褒められるようになり、問題行動が起きたときも、毎回ではないものの落ち着いて対応できるようになった。

年齢の異なる子どもの保護者の悩みを聞けて将来の参考になり、ペアレントトレーニングを通して、自分が悩んでいたことに対して「どう行動すればよいか」の手がかりを見つけることができ、とてもためになった。

体験を交えた講習だったため内容を具体的にイメージしやすく、家庭でもすぐに実践できた。子どもへの関わり方を見直す視点が増え、とても勉強になった。

当たり前だと思っていたけれど実践できていなかった関わり方について多くを学び、子どもの問題行動が改善して親子で笑顔の時間が増えたと感じている。内容にも託児にも非常に満足しており、今後もこのような機会が増えることを望んでいる。

小さな子どもへの対応方法がよく分からなかったが、ペアレントトレーニングを受講したことで参考になる点が多く見つかり、とても勉強になった。

広　告

管理栄養士のおすすめレシピ

和風シチュー

ここがポイント！

スキムミルクを使って作ることで、市販のシチューの素を使うよりも脂質が抑えられ、さらにカルシウムをたくさんとることができます。しめじに含まれるビタミンDはカルシウムの吸収を助ける働きがあり、一緒に食べると効果的です。

みその風味で、ごはんにもよく合うメニューです。

塩分 1.0g

■材料（4人分）

- 鮭 …… 1切れ
- 玉ねぎ …… 1/2個
- 人参 …… 1/4本
- しめじ …… 1/2房
- バター …… 15g
- こしょう …… 少々
- 水 …… 2カップ
- かぶ …… 2個
- 里芋（水煮） …… 80g
- ブロッコリー …… 1/2房
- 小麦粉 …… 大さじ2
- スキムミルク …… 40g
- みそ …… 大さじ1/2
- コンソメ …… 1個

■作り方

1. 玉ねぎは薄切り、人参はいちょう切り、しめじは小房に分けておく。鮭、かぶ、里芋はひとくち大に切る。
2. ブロッコリーは小房に分け、茹でておく。
3. 水2カップにコンソメを加えておく。
4. 鍋にバターを入れ、玉ねぎを炒める。小麦粉と❸のスープを少しずつ加えてへらで溶きのばす。鮭、人参、里芋、しめじ、かぶを加えて煮る。
5. スキムミルク、お湯、みそを混ぜ合わせ、❹に加えて弱火で煮る。
6. 器に盛り、こしょうをふって、茹でたブロッコリーを添える。

【1人分の栄養価】 エネルギー 152kcal/ たんぱく質 11.8g/ 脂質 4.6g/ カルシウム 151mg/ 鉄 1.1mg/ 塩分 1.0g

CKD（慢性腎臓病）を予防しよう

おしっこは体の異常を伝えてくれる大切な信号機です。検診などで自覚症状がなくても、蛋白や糖、潜血がみられたら、黄色信号です。慢性腎臓病は知らないうちに進行します。赤信号になる前にきちんと医師に相談しましょう。

北福島医療センター
志賀（しが） 隆（ゆたか） 先生

広　告

図書だより

問遊学館よも～よ　☎ 582-5388

ちょっとおそめの新春企画　『中は開けてのお楽しみ♪本の福袋』

遊学館「よも～よ」では、1月13日（火）から、ちょっとおそめの新春企画「本の福袋」を実施します。

どんな本が入っているかは、開けてからのお楽しみです♪袋に書いてあるテーマを参考に、「これだ！」と思うものを選んでみてください。

図書室1内にある受付前に特設コーナーがありますので、好きな福袋を取って、受付までお持ちください。ひとつの袋に2冊本が入っています。貸し出しは、利用者カード1枚につき1袋までです。

2026年も、皆さんにとって素敵な本との出会いがありますように・・・！

■日時　1月13日（火）　10:00スタート
■場所　遊学館「よも～よ」　受付前
※駐車場が満車の際は、役場の駐車場をご利用ください。
★子ども用・大人用　各限定20袋
無くなり次第終了しますので、お早めにお越しください。
問　遊学館よも～よ　☎024-582-5388

Information

歴史だより

わたしだけの手作りース
郡役所deワークショップ

「シュシュ風リースづくり」が12月6日、7日に旧伊達郡役所で行われました。シュシュというのは、ドーナツ状の布にゴムを通し、たっぷりと寄せたボリュームのある髪飾りのこと。それぞれが持ち寄ったお気に入りの布地を縫い合わせ、丸く形づくった針金ハンガーに通していきます。仕上げに、ボタンやリボンなどでクリスマスにぴったりな装飾をほどこし完成。参加者は、お互いの出来栄えを確認しあいながら、和気あいあいと楽しく個性豊かなリースを作りあげました。

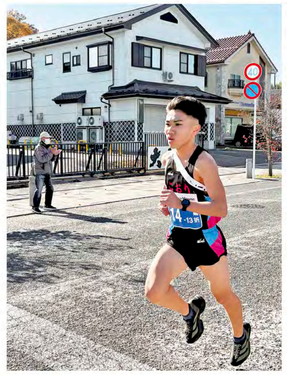
マルベリーこおり

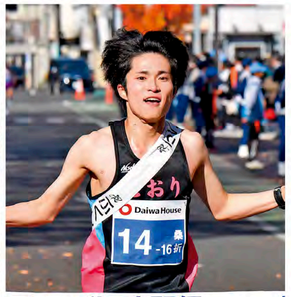
問事務局　☎ 582-3129

マルベリーこおり CUP 第９回 バドミントン大会

12月7日（日）に、醸芳中学校体育館でマルベリーこおりCUP第9回バドミントン大会を開催しました。小学生から一般まで13ペア26人が参加し、バドミントンを楽しみながら交流を深めていました。

■結果
≪一般の部≫
優　勝　官澤・樋口ペア
2　位　角舘・幕田ペア
3　位　大槻・田中ペア
≪エンジョイ☆ファミリーの部≫
優　勝　みゆ
2　位　チームダンボ
3　位　YURIATSU





回 ふくしま駅伝
提供：福島民報社
提供：福島民報社

INVITING COMMUNITY ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

町の部10位で3年連続入賞
福島駅伝で力走

第37回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月16日に開かれました。白河市から県庁までの16区間96.3キロのコースに挑んだ桑折町チームは、5時間37分09秒で総合24位、町の部10位という結果を収め、晩秋のふくしま路を力走しました。目標とした「昨年を超える町の部6位」には及ばなかったものの、見事３年連続で町の部入賞を果たしました。アンカーを務める16区の佐藤忠俊さんは、町の部区間賞を獲得し、チームに大きく貢献しました。佐藤圭監督は「結果として目標には及ばなかったものの、選手の力は上位のチームにも負けていない。来年は、大谷新監督のもと更なる高みを目指してほしい」と話しました。

駅伝チームでは、選手・スタッフを募集しています。興味がある方は気軽にご連絡ください。
駅伝チーム監督　大谷葵　☎090-8925-8218

プロ直伝！収納術
お片付けと快適生活のすすめ

「お片付けと快適生活のすすめ」が11月12日、イコーゼで開かれ、25人が参加しました。講師に整理収納清掃講座指導員の阿部恵美子さんを迎え、快適な生活を送るための片付けのコツを学習。参加者は、年末の大掃除を前に、効率的な収納方法や不用品の整理術について学びました。参加者からは「早速やってみようと思いました」などの感想が寄せられ、身の回りだけでなく心もすっきり整え、気持ちよく新年を迎えるための有意義な時間となりました。

生演奏のひととき
秋の夕暮れコンサート

「秋の夕暮れコンサート」が10月18日、イコーゼで開かれ40人が参加しました。出演はフルートとピアノのユニット「Takano & Miyuki」のお二人。参加者は、生演奏ならではの豊かな響きを楽しみました。また、フルートやウィンドチャイムに実際に触れられる時間もあり、楽器の音色を間近に体感しました。参加者からは「生演奏を間近で聞くことができ、とても贅沢な時間だった」と喜びの声が聞かれ、芸術の秋にふさわしい心温まるひとときとなりました。

上杉の歴史を巡る旅
米沢歴史の旅

「米沢歴史の旅」が11月18日に行われ、37人の参加者が秋の米沢で歴史ロマンに浸るひとときを過ごしました。当日は「東北の伊勢」とも呼ばれ、日本三大熊野の一つに数えられる熊野大社を参拝したほか、米沢の歴史を伝える上杉博物館、戦国武将・上杉謙信がまつられている上杉神社などを巡りました。参加者は、史跡を実際に訪ねながら、米沢藩や上杉家ゆかりの歴史に触れ、地域の文化や先人の歩みに理解を深めていました。

Dreams come true.

わたしの夢

穂積 恵未名（えみな）さん　醸芳中3年生

「絵対決」から始まった夢 人の心を支えるデザインを目指して

私の夢は、アニメやアート、商品パッケージの制作など、デザインに関わる仕事に就くことです。小学生のときに、絵が得意ではなかった兄が練習を重ねて上達していく姿を見て一緒に絵を描くようになりました。兄とテーマを決めて「絵対決」をするうちに意欲が芽生え、自分の表現したいものが描けるようになると、どんどん楽しくなりました。中学生となり、将来の夢を考える中で、自分の好きなこと、得意なことを生かしながら、誰かの心を支えたり、背中を押したりする力があるアニメやアートなどのデザインに関わる仕事に就きたいと思うようになりました。今は、デザインコースのある高校進学を目標に、独学でデッサンを学びながら日々練習しています。今後は、進みたい分野を見極めるために、自分に足りないスキルやデザインの知識習得により一層励みたいです。

まちのお知らせ
Town information.

マイナンバーカード申請サポート

出張申請受付を行っています

役場職員が職場や町内会館、ご自宅などを訪問し、マイナンバーカードの申請をサポート！
完成したカードはご自宅へ郵送します。

■対象
企業や団体、家族、友人同士など（人数制限なし）

■対応日時
原則、平日9:00～12:00 / 13:00～16:30の間

■お願い
会場手配や申請者取りまとめ、申請書配布などの準備は、申込団体でお願いします。

問税務住民課　住民国保係　☎582-2114

広　告

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS ｜ ごみ減量化インフォメーション

問生活環境課
☎582-2123

紙製容器包装は紙資源収集日に出しましょう

もやせるごみとして捨ててしまいがちなお菓子や調味料などの箱は、紙製容器包装にあたり、正しく分別し紙資源収集日に出すことで、リサイクルやごみ減量につながります。パッケージに紙製容器包装マーク（紙マーク）がついているものや段ボール、牛乳パックなど、それぞれ分別し、紙資源収集日に出してください。

紙マーク

●紙製容器包装の出し方

▶**原則「ひもで十字に縛る」**としていますが、紙製容器包装は形や大きさがさまざまなため、下の写真のように、**紙袋を使って出しても問題ありません。ただし、ガムテープなどは使用しないでください。**

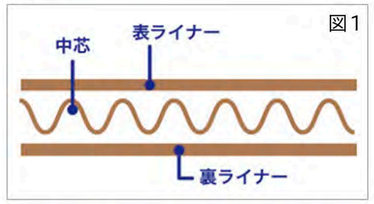
①紙製容器包装を分別して、紙袋に入れる。

②中身が出ないように、持ち手を結ぶ。または、袋ごと十字にしばる。

●段ボールは紙製容器包装ではありません

▶紙製容器包装と段ボールが混ざった状態で出されているものがあります。古紙の種類によって、再生される紙が異なるため、正しく分別して出してください。なお、**段ボールは図1の断面図のように、波板状の中芯を2枚の板紙で挟んで製造されています。**分別時の参考にしてください。

図1



リサイクルで**温暖化対策**

ごみへらし
町もこころも
輝こう

▲桑折町児童SDGs推進環境保全啓発作品コンクール優秀作品

町のごみ排出量
※1人1日あたりの排出量

令和7年11月 **941g**　前月比－162g
（令和6年11月 1,073g　前年比－132g）

分別に困ったら…
伊達地方衛生処理組合のホームページで検索

広　告

広報こおり ① JAN.2026 vol.673
Koori Town Public Relations Magazine

1 JANUARY 2026 くらしのカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
●成人講座 ●子ども向け講座 ㊡休日当番医 ◆母子手帳交付・すくすくの日 (☎582-6045) へ事前にご連絡ください。 			7 ・広報1月号発行 ・お知らせ版発行 JR桑折駅前イルミネーション 旧伊達郡役所ライトアップ	8 第3学期始業式 (幼・小・中)	9 ◆	10 桑折学習塾 (中学1・2年生)
11 桑折町二十歳の成人式 ㊡阪内医院 ☎577-2222	12 成人の日 ㊡大山クリニック ☎583-2136	13 健康チェック&相談日	14	15 1歳6ヵ月健診 (R6年5・6月生)	16 ◆ 初めてのスマホ講座	17
18 ㊡菊地整形外科 ☎583-2633	19	20	21 ・お知らせ版発行 ・新春館長杯ボッチャ大会	22	23 ◆	24 桑折学習塾 (中学1・2年生)
25 ・桑折町文化財防火訓練 ・キッズスクール (伊達崎公民館) ㊡おの整形外科クリニック ☎527-1055	26	27 すくすくカフェ	28	29	30 ◆	31 桑折学習塾 (中学1・2年生)
1 ㊡神岡クリニック ☎586-1318	2 初めての手話体験講座	3 4・7ヵ月健診 (R7年9・6月生)	4 ・広報2月号発行 ・お知らせ版発行 ・離乳食教室	5	6 ◆	7

【編集後記】

▶先日とある研修で、「あとでやる」と先延ばしにしてしまう心理には、未来の自分は今の自分よりも有能になっている、という錯覚が働いているのだと知りました。確かに、今の自分が行動しないのに未来の自分が行動するはずがないよなと、「来週やろう」「来年から始めよう」と思いがちな私に痛く刺さる言葉でした。未来へのゲートは常に開かれています。今年は、ウマくいくかより、思い立った瞬間に走りだせる脚力を身につけたいと思います(大越)

◆人口（前月比）12月1日付

人口 ※住民基本台帳/外国人含む	計	10,809人	(−18)
	男	5,273人	(−9)
	女	5,536人	(−9)
世帯数		4,679世帯	(−3)
転入	16人	出生	0人
転出	15人	死亡	19人

◆今月の納税

- 固定資産税（4期）
- 国民健康保険税（普通徴収7期）
- 介護保険料（普通徴収7期）
- 後期高齢者医療保険（普通徴収6期）

期限 2月2日(月)

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明交付/印鑑登録/マイナンバーカード交付など窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。）

※当日午後5時までに税務住民課（☎582-2114）へ要予約。

発行／桑折町 〒969-1692 福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下22番地7
tel 024-582-2111（代）／fax 024-582-2479